

	薬学部薬学科
DP	<p>薬学科は、本学立学の精神と、本学科人材養成目的「薬学の確かな知識、技能とともに、生命の尊さを知り、豊かな人間性と倫理観をもち、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材の養成」に基づき、次の資質・能力を身につけた学生に学士(薬学)の学位を授与します。</p> <p>①医療人として幅広い教養とコミュニケーション力を身につけ、生命の尊厳について深い認識を持ち、薬剤師としての社会的責任と使命を自覚して、広い視野に立って物事の公正な判断ができる。</p> <p>②薬剤師に求められる幅広い薬学の知識と技能を修得し、健康・医療における諸問題の解決のために活用し、社会に貢献できる。</p> <p>③高度な専門知識と臨床技能を有する薬剤師として他の医療職と協力して患者中心の医療を実践し、「くすりのプロフェッショナル」として医療の質の向上に貢献できる。</p> <p>④医療人としての論理的思考力と科学的視点を有し、探究心と創造力を育み、薬学および生命科学研究を推進することができる。</p> <p>⑤医療の変化に対応し、社会に貢献するために、生涯にわたって主体的に学び続け、学んだことを自ら振り返ると共に、薬剤師の新しい職能の開拓、後進の育成に貢献できる。</p>
CP	<p>薬学科は、本学科人材養成目的「薬学の確かな知識、技能とともに、生命の尊さを知り、豊かな人間性と倫理観をもち、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材の養成」に基づいた学位授与方針に示す資質・能力を身につけさせるため、次のような教育課程を編成し、実施します。</p> <p>①幅広い教養とコミュニケーション能力を醸成するため、人文・社会・自然科学からなる教養教育課程を体系的に編成する。医療人の資質の基礎となるプロフェッショナリズムを醸成するために、体験やディスカッションを含めた多様な学修形態を用いた学修を6年に渡って継続して実施することにより、広い視野に立って医療の目的と薬剤師としての社会的使命を理解し実践できるようにする。</p> <p>②科学として薬学を理解するための基礎科目、医薬品の創生と適正使用につながる知識と技能を修得するための専門科目を順次性をもって編成し、実施することにより、人々の健康の増進と医療の発展を通して社会に貢献できるようにする。</p> <p>③薬剤師としての職能を高め、患者中心の医療を実践する知識と技能を修得するために、統合型科目を含む多様な臨床薬学科目を編成し、医療の質の向上に貢献できるようにする。</p> <p>④能動的学習を取り入れた初年次教育や演習・実習・薬学卒業研究を通して、論理的思考力や創造力を培うとともに、生涯にわたって主体的に研鑽を続け、他者との相互理解や後進を育成する意欲と態度を保つことができるようにする。</p> <p>⑤多面的かつ適切な評価方法により学修成果に対する厳格な成績評価と単位認定を行うとともに、学修行動調査、GPA、修得単位数にもとづく個別指導を行うことにより、個々の達成度と将来計画に応じた学修を進めることができるようにする。</p>
AP	<p>薬学科は、学科の教育目標・人材養成目的を理解し、高等学校等における学習を通して、次のような資質・能力を身につけている人を受け入れます。</p> <p>①薬学部薬学科における広範かつ専門的な学問領域に対応できる高い基礎学力を高等学校等で修得している。</p> <p>②薬学部薬学科各教科の学修成果を薬学領域の発展に尽くす目的意識を持っている。</p> <p>③生涯にわたる学修姿勢と論理的思考を有し、新しい課題・問題に対応できる創造性や行動力を持って主体的に社会に貢献する意志がある。</p> <p>④豊かな人間性と協調性を有し、国際性とコミュニケーション能力を培い、将来医療人として活躍する意欲がある。</p>
アセスメント・ポリシー	<p>1. 学生個人の評価の方針 科目レベルでは、シラバスに記載した成績評価方法および評価基準に従って評価を行う。学修の達成度については、記述試験、実技試験、レポートなど、各科目の教育内容に適した方法で実施する。プロフェッショナリズム教育の達成度については、学修ポートフォリオに蓄積したデータを活用し、パフォーマンスの形成的評価を行うと共に、構成する教育内容に適した方法により評価する。問題解決能力の醸成に関する達成度は、パフォーマンス課題の成果、研究発表会などでのプレゼンテーションや、レポート、卒業論文の内容とその作成過程における取り組みについて、ルーブリックを活用し評価する。また、学生には、学修ポートフォリオを活用し、ディプロマ・ポリシーの科目群ごとの成績およびディプロマ・ポリシーに掲げる能力に対するルーブリック(ディプロマ・ルーブリック)に基づいた振り返りと、教員によるアドバイスを組み合わせ、自らの学修状況を認識できるようにする。</p> <p>2. 学位プログラムの評価の方針 学位プログラムの評価は、ディプロマ・ポリシーの科目群ごとのGPAおよび素点に加えて、単位取得状況、学修行動調査、学習スタイル調査、ディプロマ・ルーブリックの到達状況、共用試験、卒業試験、薬剤師資格取得状況などにより実施する。プロフェッショナリズム教育の評価については、パフォーマンスの形成的評価の結果を加えて実施する。</p>